

ご挨拶

「障害児基礎教育研究会」は、創始者である故水口俊（みずぐちふかし）が、障害児教育のあり方を明らかにすることを目的に平成元年に設立したものです。

①特別支援教育に携わる教師や作業療法士、臨床発達心理士、医療機関での療育担当者を含む周辺職種や保護者など、障害のある子どもにかかわる多彩な人々が参加しています。

②「見る、見たものに手を伸ばす」など、初期の運動操作から概念形成・記号操作に至るまでの過程を独自の教材教具を開発し、教育実践に基づいて解明しようとしています。

③子どもと支援者である大人が、ともに学び合う存在として、人間関係を深めていくことを大切にしています。

これらを特色として、定例の個別指導や教材製作、研究協議会を行っています。この会には、会員にかかわらず、どなたでも無料で参加できます。

平成19年、水口俊は志半ばに逝去しましたが、その心は会員が受け継ぎ、それぞれの実践の場で、研究を深めています。教材教具を作ってみたい方、研究協議会に参加したい方は、ホームページ「お問い合わせ」より幹事にご相談ください。

障害児基礎教育研究会 代表 吉瀬正則

<幹事>

- | | |
|----------------|-------|
| ・全国療育相談センター | 立松 英子 |
| ・障害児基礎教育研究会 | 根本 文雄 |
| ・神奈川県立平塚ろう学校 | 加部 清子 |
| ・東京都立中野特別支援学校 | 長沼 潤子 |
| ・東京都立鹿本学園 | 金子記美恵 |
| ・琉球大学大学院教育学研究科 | 比嘉 展寿 |

□会 場

琉球大学 千原キャンパス
文系講義棟 215教室



(大学公式Facebookより転載)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1

【アクセス】以下のサイトをご参照ください。広いキャンパスです。「文系講義棟」を目指してお越しください。

<https://www.u-ryukyu.ac.jp/access/>

参加登録



*パソコン画面上でQRコードをクリックすれば、登録フォームにアクセスできます。

【参加費】 **会員・保護者 無料**

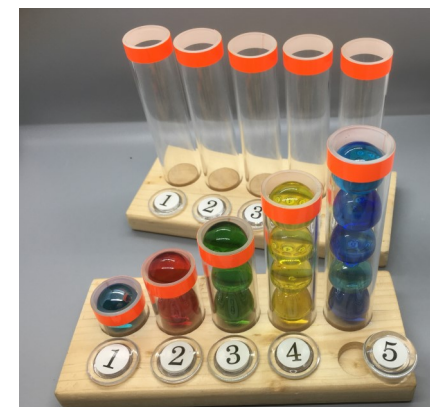
非会員：2000円 学生：1000円

<振込先>三井住友銀行高幡不動支店
店番号261 普通口座 1327611

第31回 障害児基礎教育研究会

教材工夫展

個別最適な学びを支える教材教具



後援 全国特別支援教育推進連盟
国立大学法人 琉球大学
沖縄県教育委員会



教材工夫展について

1994年8月、東京虎ノ門の国立教育会館で第1回を開催して以来、国立オリンピック記念青少年総合センター、東洋大学、東京福祉大学等の会場をお借りして、年に1回、創始者の水口俊や会員の創作教材を展示してきました。コロナ禍の2021年と2022年はオンラインでの開催を余儀なくされましたが、2023年からは再び対面開催になりました。今年度はついに、沖縄で3度目の開催が叶いました。比嘉展寿実行委員長の尽力もさることながら、準備にご協力くださった先生方に心より感謝しています。主催者一同、沖縄の空気や訪れる皆様と直接ふれあうことへの期待感にワクワクしながらその日を待ちわびています。

自然界の物には全て色や形、位置、順序、方向があります。丁寧に作られ、工夫された教材教具は、こうした要素の1つ1つに光を当て、物の操作を通して人とふれあうことの大切さを伝えています。本研究会で考える「教育の基礎」は、直接触れる、動かすことを通して、教える側と教えられる側が時にその立場を逆転しつつ、滞りを乗り越え、互いの関係を深めていくことにあります。年齢や障害の種類・程度を問わない学びの喜びについて、皆様と語り合うことができれば幸いです。

(研究会幹事：立松英子)



第31回 障害児基礎教育研究会

教材工夫展



□日 時 2025年11月2日(日) 10:00-16:00

□場 所 琉球大学 千原キャンパス
文系講義棟 215教室

□テーマ 個別最適な学びを支える教材教具

□内容 ・創作教材の展示・製作相談・活用相談
・実践発表・講演

□ご挨拶 障害児基礎教育研究会沖縄教材展実行委員長
琉球大学教職大学院教授 比嘉 展寿

<午前>

自由観覧 ・教材教具を自由にご観覧いただき、その場で
製作相談 制作相談や活用相談をお受けします。
活用相談 ・創始者の実践ビデオや、会員による動画コン
ビデオ視聴 テンツを公開します。

<午後>

実践発表 年中児Aさんの人や物へのかかわりを広げる
アプローチ
元宮古特別支援学校(現 沖縄ろう学校)教諭
新城 理奈

講 演 個別最適な学びを支える教材教具
一個々の「わかり方」に合わせた支援—
全国療育相談センター / 教育学博士

□研究紀要 会員及び参加者には無料で配布いたします。

□参加登録 会員/非会員にかかわらず、裏面のQRコードか
らご登録ください(pdf上でクリックしても登
録フォームを開くことができます)。

□参加費 **会員・保護者は参加費無料です。**
非会員は2000円、学生は1000円を、事前に
銀行振込で承ります。



教材教具とは

- 1 手の操作を通した、共通の言葉となる道具である。
- 2 大人の側からいえば、具体的で、予測のつく、発信と受信の道具である。子どもの側からいえば、わかりやすい受信に基づき学習の結果を発信する自己実現の道具である。
- 3 人間関係の成立のきっかけとなり、達成感を体得し、自己の可能性を発見し、そのよろこびを共感し、相互の信頼関係を深めていくふれあいの道具である。(水口 俊)

2005年7月 「教材教具とは」より要約、抜粋
(ホームページ「創始者紹介」に全文を掲載)



マッサージからコミュニケーションを始める
研究会創始者 故 水口 俊(写真左)

